

今こそ、ONE TEAM

【特集1】見えない敵へ立ち向かうために

*この特集は、令和2年4月23日までの情報で作成



→時間を使い、三密対策で7席中4席で営業中の焼肉ボタ山。売上減少と仕入れ肉口の現状で打開するため、開業以来初となるお弁当の販売を決定。4月中旬から平日毎限定で販売している。



→平成筑豊鉄道で一番利用者が多い朝の出勤・登校ラッシュ時の車内。平常時は定員いっぱい乗客でしたが、取材時の乗客数は4人。4月の売り上げは前年比で9割減と見込まれている。



→購入の需要で供給が追い付けない感染対策の関連商品、特にマスクは、当面の間はこの状態が続くことのこと。取材店舗ではマスクや除菌商品を求める毎日来客する姿が多く見かけるという。



→高齢者の通院や居酒屋への送迎など、待機するタクシーガードが利用されていましたが、3月の売り上げは3割減、「業務員はマスク適宜消毒を徹底しているのでぜひ利用を」と呼びかけています。

また、医療・保育の現場では、高い感染リスクにさらされながら、まさに「命がけ」で勤務を継続。状況は違えど、それぞれの立場・状況で姿の見えないウイルスと戦っています。幸い福智町内では、まだ感染者は確認されていませんが、感染症の影響で私たちの生活は一変。一日でも早く平穀な毎日を取り戻すためにも、一人ひとりがこの感染症を自分事として捉え、命を守るために向き合う必要があります。

新型コロナウイルス感染症 Close up! Diseases

発熱・乾いたせき・体のだるさ・呼吸困難・味覚や嗅覚障害などが典型的な症状とされる「新型コロナウイルス感染症」。主な感染経路は、くしゃみ・せき・つばなどの飛沫を吸い込んで感染する「飛沫感染」と、感染者の接触物に触れたあとで目や鼻を触り粘膜から感染する「接触感染」がある。PCR検査で陽性と判断されたら呼吸困難などがない軽症者は対処療法、それよりも症状の重い中等症のかたは酸素投与、最も症状の重いかたは気管内挿管で全身管理を行い治療を行う。より症状が深刻な場合、心臓と肺の機能を果たす「ECMO」が使用される。今回、中国・武漢で発生したコロナウイルスは、今までに確認されていない新型ウイルスのため、有効性が明確に証明された特効薬は現在時点で開発されてない。

【世界各国・日本・福岡県の感染状況】

世界の感染者数 ▶ 2,558,526人(内180,450人死亡)
日本の感染者数 ▶ 11,496人(内277人死亡)
福岡県の感染者数 ▶ 563人(内13人死亡)



世界中で18万人以上の死者を出すなど
猛威を振るう“新型コロナウイルス感染症”
姿の見えない敵は、医療現場や大都市
だけでなく、福智町内での生活にも
大きな影響を及ぼしています――

→93歳までの高齢者17人が入所するこの施設は感染症対策で家族との面会を2月末から制限。入所者と密に接する職員は危機感を持って外出自粛や「1介助・1消毒」を徹底している。

*

→家庭保育が困難な乳幼児約30人を預かる神崎保育園。「三密回避は不可」。マスクができない子どもを預かる保育現場は感染リスクの高い環境で「命がけ」で、職員は不安な心中を吐露する。

*

→自治体職員の感染が相次ぐ中、福智町役場では感染対策と職員間の飛沫感染を防止するためアクリル板を設置している。

*

→非常事態宣言が発出され、臨時休校中の町立学校7校。新入生を歓迎するため教室内に施された装飾は、入学式で27日後にして2日目の登校となる見童らのために残しているという。

*



*